

令和4年度 第3回新城市地域公共交通会議 会議録

1 開催日時

令和4年10月31日（月）午前10時15分から正午まで

2 開催場所

新城市役所4階 会議室

3 委員（23名中17名出席）

所 属 等	氏 名	備 考
新城市長	下江 洋行	会長
名古屋大学大学院環境学研究科 附属持続的共発展教育研究センター教授	加藤 博和	(副会長)
公益社団法人愛知県バス協会専務理事	小林 裕之	欠席
豊鉄バス株式会社常務取締役営業企画部長	坂本 直也	
豊鉄タクシー株式会社取締役社長	長縄 則之	
東栄タクシー有限会社代表取締役	原田 拓巳	
東海旅客鉄道株式会社東海鉄道事業本部 管理部企画課 課長代理	渡邊 良成	欠席
ジェイアールバス関東(株)新城支店長	岡見 将浩	
豊橋鉄道労働組合中央執行委員長	長坂 和俊	
新城市社会福祉協議会会長	前澤このみ	
山吉田ふれあい交通運営協議会会長	肥田 芳博	
新城市老人クラブ連合会広報安全部副部長	森 正彦	欠席
新城市小中学校PTA連絡協議会（鳳来中）	請井 法子	欠席
バス利用者代表	加藤久美子	欠席
バス利用者代表	筒井 博仁	(監事)
バス利用者代表	齋藤 純子	(監事)
中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官	山内 三奈	
愛知県都市整備局交通対策課担当課長	大林 益英	代理出席 課長補佐 江崎嘉彦
愛知県新城警察署交通課長	兵藤 収	欠席
愛知県新城設楽建設事務所維持管理課長	堤 一史	
新城地区自治振興事務所長	笹田 明男	
鳳来地区自治振興事務所長	石野 里美	
作手地区自治振興事務所長	横山 卓央	

4 会議次第

1 会長あいさつ

2 副会長あいさつ

3 報告事項

(1) 第2回会議（書面協議）結果について

(2) 新城名古屋藤が丘線高速乗合バス「山の湊号」について

(3) Sバス西部線の見直し検討状況について

4 その他

5 会議の結果

1 会長あいさつ

日頃から、皆様方には地域の公共交通のあり方・運営について様々なご支援・ご指導をいただき感謝を申し上げます。開会にあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。いよいよ、明日11月1日からジブリパークの開園となります。この間、本市といたしましては、広報ほのか11月号や10月27日付け中日新聞東三河版への広告掲載によるPRを行うとともに、大々的にキャンペーンを実施いたしまして、大変多くの方にご利用いただくとともにPRもさせていただくことができました。

また、ジェイアールバス関東様につきましては、道の駅もつくる新城への乗り入れ開始から一周年ということでありまして、昨日まで記念イベントが催されておりました。中部運輸局の道の駅拠点・ハブ化実証事業につきましても検討が進められており、NHK大河ドラマ「どうする？家康」の放映に合わせてオープン予定の「どうする家康 浜松 大河ドラマ館」のプレオープン期間中に新城市と浜松市を結ぶ高速バスの実証運行も予定されております。本市地域公共交通計画に掲げております市内外をつなぐ公共交通結節点となる道の駅もつくる新城周辺環境の整備につきましては、高速バスのみならず、本市Sバスや様々な公共交通との接続を充実させ、利用される皆様の利便性向上を図るための重要な施策と考えております。様々な公共交通機関が安全かつ確実に、スムーズな接続ができますよう、今後も様々な取り組みや調整事項もあろうかと存じますが、委員の皆様におかれましては改めまして格別のお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。さて、本市では新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催を控えさせていただいておりました市長と地域の皆様との意見交換会を10の地域自治区で開催をさせていただいております。どの地域においても地域の皆様の移動手段確保の問題が大きな関心を集めており、公共交通に関するご意見を多くいただいている状況です。地域により進捗は様々な状況ではありますが、地域共創型公共交通システムに基づくSバスの見直し案が上がり始めております。本日はSバス西部線の見直しにつきまして、状況報告をさせていただきますが、それぞれのお立場から益々活発にこの公共交通会議でご意見をいただきながら進めてまいりたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

2 副会長あいさつ

最近、新城に来ることが多く、これは新城市と名古屋大学で連携協定を結んでいてその一環として、今年度は、支援してもらいたいという依頼もあって、今のところは情報交換、意見交換を八名と山吉田に行きました。やはりただ行くだけではなく、話をすると、やらなきゃいけないものができたなと思います。それから国は、10月に入って、来年度に予定される新たな法制度・具体的な支援制度の検討に入っていて、私もその委員として、オンライン会議に出ています。あと、新幹線も、全国旅行支援が始まったことから、ほとんど満席で昔のような状況に戻っている。たくさんの方が動いているので、もちろんコロナに注意してですが、旅行需要の獲得もやらなきゃいけない時期に入ったということで考えなければいけないと思っています。ちなみに私はバスの安全とか事故の方もやらざるをえない状況なので、名古屋高速での事故、それから先日の観光バスの事故も関係してしまっていて、忙しい状況です。私の場合、北設楽と新城を一通りやっていますので、全体のところから見て、何が必要かと

いうことも、考えてやっていきたいと思っています。引き続きよろしくお願いします。

事務局より座長欠席のため、本日の進行について説明

設置規定に座長不在の代理の記載が無いため、事務局にて進行を実施

3 報告事項

(1) 報告事項 第2回会議（書面協議）結果について

事務局より報告事項について説明

(2) 報告事項2 高速乗合バス「山の湊号」について

事務局より報告事項について説明

委員：まず弊社の高速バスの状況について、少しご説明します。弊社で運行するバスは、関東バス共同で運行する東京線と、自前の長島京都線がございます。高速バスお客様が戻ってきてはいるのですが、コロナ前に比べると減少傾向があります。何が一番大きな問題だということややっぱり燃料代がかかるというところで、厳しい状態です。その中で、ありがたいことに、山の湊号は非常に元気で、明日にはジブリパーク開園ということで、まさに追い風になっています。長久手市は、公共交通会議も出席させていただいておりますけれども、本当に愛知県で一番成長したまちだと感じております。ただ、やはり日頃の道路業態、かなり車が混んでいまして。名鉄バスの所長とも話をしたのですが、ジブリパークが予約型の施設であります。ジブリにはかなり濃いファンがとにかくそこに寄りたいということで、明日からそばに来られる方で混むだろうと。山の湊号については、何とか定時運行に努めて参りたいと考えております。先ほど今の山の湊号の予約状況を確認しましたところ、やはり予約制ということで、お客様からの予約がある状態でございますが、ジブリは目玉施設でございます。新城の方も利用していただければと思っております。

委員：報告資料を発見しますと、通勤通学でしっかり使っているという、基本的には生活路線としての位置付けということがはっきりしているかというふうに感じるところです。それに加えて観光路線としてのこれからの伸びしろがしっかりあるのだということの読み取りと思っておりますので、次回に向けた協議について、準備を着々と進めていただければなというふうに感じるところです。

委員：湯谷温泉もつくる新城線について、11月に走るということについて、インターネットで検索して出るかどうか確認したけどもほとんど出ない。時刻表から進んでいかないので、その上にありますけど、湯谷温泉もつくる新城線に直接で行ったとした時に、11月に運行するというのは何も記載がない。それ新城市観光協会でも、奥三河の観光サイトでもそこを見ただけだと、分からないので徹底的に発信しないと。鳳来寺山は観光地なので、土日があって平日がないから今回平日と土曜日しかないという、全く逆なので、そういうことにならないようにしなきゃいけない。これは実際問題、去年の報告資料になる山の湊号の実績でも、11月が、非常に多いですね。ここは名古屋の方に、知っていただく、非常に大きなチャンスですが、行き方は非常に面倒だと。車に乗って行ったら、最後は、階段を上がるので、体が不自由な方はいけない。そうではなく、藤が丘から非常に行きやすいということをどう周知するかということ

をやらなきゃいけないなと思います。単純に来年のこと考えたら実際こうやっていったよっていうレポートみたいなのがあると非常に良いのかなと。どうせ3往復しかないの、こうやって過ごせるよっていうレポート的なものが、何かホームページで見られるといいなと思います。新聞広告は11月2日ですか。私も中日新聞を拝見しますので、見つけたら宣伝しようと思っています。あと、山の湊号の11月以外の状況は、だんだん実力を出してきたと思っています。11月だけではなく、新城の皆さんがどれだけ使っていただけるかっていうことだと思いますね。その時に、例えばもつくる新城南のバス停は皆さんわかっているのかなとかね。道から引っ込んでいないですか。そうすると、名古屋行きなどがわかるように何か大きい看板でも立てるとか、そういうことをすれば、わかってくるとかね。とりあえず、それから藤が丘からまっすぐ行けるよっていうことがいかに楽であるかと。ここで周知できる大チャンスなので、新城としてやらなきゃいけない。あと、どうする家康は非常に期待していて、先日も山吉田に行ったときに見つけましたが、山吉田には家康のエピソードがある。徳川家康は新城から長久手いたるところにある種の足跡がある。特に大河ドラマは最後で紹介しますよね。こういうゆかりのところ、あれは非常に重要で、もうあれが出るとすぐ問い合わせが入る。大体NHKの、そこに出るのは、公共交通機関でのアクセス方法。この辺だと、徒歩120分とかそういう表示になりかねない。なので、事前に情報を整理することは難しいかもしれないが、しっかりと整理しておくこと。また、今からちょっと体制組んで、やっていくことが大事じゃないかなと思います。浜松駅のバスにしても、そのあたりをやらないとただ待っているだけで、情報が全然伝わっていかないので、ぜひここへ来てもらうよっていう時に、いろいろすでにあって、使えるものがあるよっていうことを、ちゃんと皆さんに知っていただく、そういう戦略が必要だと思います。

事務局：湯谷温泉もつくる新城線の特別運行については、最初の祝日の運行が11月の3日ということで、早急にやりたいと思いますし、ジブリパークに関してはもう明日からということになるので、こちらについても、ホームページのところで作れるところはしっかり対応していきたいと思います。

委員：加藤教授がおっしゃったように、日曜日に名古屋方面から鳳来方面の観光のお出かけの際にいらっしゃったお客様が、接続便がないということのご意見をいただいております。やはり秋の一番行楽シーズンに名古屋方面からは山の湊号でいらっしゃって、新城地区に行ってみたいという声は結構ありますが、現行では、乗り換えがないものですから、観光のお客様向けの足としてはちょっと弱い面が目立っております。私自身やはり問い合わせ等に対応する中でやはり日曜日の二次交通がないというのは非常に心苦しい点もございます。この先山の湊号が、名古屋市とこの地域をつなぐ幹線路線として発展していただけるよう乗務員共々お客様の立場での接遇ができるように努めて参りたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

事務局：日曜祝日の運行につきましては、新城市の場合はSバスはまず今基本やってないことが、一つ課題であると思っております。今回の公共交通計画におきましても、土日運行の可能性について、施策として掲げているところがございます。観光だけではなく、これからまた免許返納とか、高齢者の方の足の確保といった時に、やはり土曜日に住民にお買い物に行きたいとか、お出かけ需要の確認の必要性は感じているところです。今回、この湯谷温泉もつくる新城線の日曜祝日実証運行を見て、それで今後の対応について考えていきたいなと思っております。

委員：豊川市の公共交通会議にも出席しておりまして、豊川市、いまなにが話題かというところと3月下旬にはオープンするイオンモールについてです。先日、土岐市のイオンモールがオープンしましてかなり賑わっているようですけど。このイオンのオープンに併せて、私どもの考え方は、今の新豊線のダイヤをいかに維持するかということ。お話を伺っていると、やはり新城のお客様はもう市内で買い物をしていただくのがベストですが、やはり1回見に行きたいということで、新豊線をご利用いただいて、バス利用ですと渋滞を避けることも出来ますし、山の湊以外の路線利用としてご利用いただければと思っております。

報告資料3 Sバス西部線の見直し検討状況について

報告事項について事務局より説明

委員：今の案ですと、利用者が少なければ多分この時間で、待ちということになると思います。ですから、非常にたくさんの方が乗られるということになりますと、タクシーの台数が足りないのので、そうした場合にまた見直しをかけていただけるのかなというふうに思っております。あと、タクシー事業におきましては、全国的にどこも厳しい状況ということになっておりますけども、そうした場合、中心地のデマンド的な交通が開始するようになりますと、会社としても厳しい。来年度ぜひご支援策といったものもぜひご検討いただければというふうに思いますので、よろしくお願いたします。

事務局：もちろんタクシー事情等も、こちらとしても、新城交通さんが廃業されたということで、豊鉄タクシーさんが入っていただいたことは、ありがたいと思っておりますし、またこれから公共交通として重要な役割を担うということも考慮してまいりまして、タクシーさんのそれを奪うという意味でこれを今考えているわけではありません。また、この西部線だけを見ていただくと、少なくとも街中のところの部分は、それに配慮して定時定路をキープしてまいりまして、また今後、よその地域でも、やっぱりデマンドというものは言われてくるころではありますけれども、全く完全な自由のデマンドというものを作るつもりもなく、タクシー事業とバス事業の混在における秩序みたいなところは考えていきたいと思っております。タクシーが新城のまちなかの中を機能することも1つ公共交通対策として考えているころではありますので、よろしくお願いたします。

委員：まず、この中心部の定時路線については、往路ができないんじゃないかな。往路はいろんなところに寄っていくのか、それともあんまり寄らないのか。そういう状況の中で中心部の時間を同じに合わせるっていう話は至難のわざです。ここを定時定路にするのは困難じゃないか、帰りはできると思いますが。帰りは新城とか中心部の方から、定時の何時に出て、そのあとは何時に着くか分からないとなると、それは別にやむを得ないことではないと思っておりますし、もし新城駅で、何分の列車に乗ることが必要だ、乗り継ぎをちゃんとやらなきゃいけないとなれば、そこには着く目安時刻はきちんとやる必要があります。もちろん、そこを本当に確実にしたい方はタクシーを使ってくださいっていうことに通常はなりますけれども、電車に乗るところだけは、何分とすることができると思っております。この赤いところを、西部の方から出て、定時定路では困難かと私は思います。あとこれは参考ですが、飛騨市に古川というところがあります。朝は、各方面から、古川駅方面に向かってくる路線が運行して、駅方面から出るときはお客様に、どこへ行かれますか？と聞くので、どこの病院とかどこどこにというところまで行

ってくれます。病院からの帰りは、タクシーに乗れるから、駅へ来るかしてくださいと。ただそのときには、タクシーの割引券がありまして、タクシー帰りの復路については、半額券で、一応お年寄り半額で買えるというやり方をしています。帰りをやると、時間が非常に定まらないと思うのでタクシーで来てもらうとかあったりすると、実はタクシーはもうそれなりに需要があるのかなと。ちょっと新城の状況わからないですが、僕が関っている自治体だと朝も1週間前しか予約できない。そのため、逆にやらざるをえないとなると、行きは病院に行かなきゃいけないから、ちょっと焦りますけど、帰るときは、そんなに焦らないので、タクシーを利用してもらうというようなのが一つ。例えば田口新城線とか乗ってきたとして、医院だとか、施設だとかどうでしょう。この場合は、上岡ってところもあって、町中循環バスをやっている、管理部の中心地のところで、古川とか井野谷っていう、富山の方から来るバスが来ると、そこで乗り換えて、上岡の中心地のいいとか、施設をまわると。上岡も行ったことがないと分からないと思いますけど、非常に斜面です。斜面なので、短い距離でもタクシーに乗ることが多いと。なので、タクシーさんはいつも言いますが、これは困るけど嬉しいと。もうこれがなかったらお客さんもちょっとくるけど、これがあることで、受託しているので、収入は決まっているのでありがたいという。そういう感じですね。上岡は狭いところなのでいいんですけど。新城なんかちょっと展開しているし、平地なので、歩いていけるとかっていうことかもしれませんが、この中心市街地のところは、例えばバスとか電車とかで乗っておられた方だと。初乗りの所半額にするとか、或いはもうちょっと100円とか。一宮だとアイバスミニっていう名前ですが似たような形で運行している。そういうやり方も、この中心市街地でやってみるとか、この最後のところの、街中でどう行くかっていうのを、全部共通にしとくと、西部線を持ってくと自動的にそれになるし、新城駅口とか亀姫通りでおいたら、そういうまちなかを安く行けるタクシーがあるみたいな。だからもうタクシーに、乗車する形だけど、乗り継ぎの時は割り引いて払うかたちがいいのかなと。距離も通常1キロとかでしかやらないのであれば、利用者にとっての利用もあるし、こういうのを考えるといいかなと思います。つまり西部線だけで、システムを作ると、これに引きずられて、他の路線もそうなるようになっていくことが考えられますよね。そういうところから来たときに、どうなるかっていうことを考えたら、それも同じシステムでできるよっていうふうに、ちょっと今から考えた方がいいのかな。ちょっと時間があまりないですが、何とか考えてやれないかと思いましたので、お伝えしておきます。

事務局：先生がいま言われたことですけれども、確かに今、豊鉄タクシーさんのタクシーの台数が十分でないということも伺っております。で、タクシーはなるべく街中で、動いてほしくて、要はまちなかへ人を集めるので、街中の部分はタクシーにお任せしたいというのがこちらとしてまず考えているところです。それをベースに、八名地区が今考えているようなこともあるということで、亀姫通りを拠点にしながら進めていきたいというのがあります。また、事前調整をしっかりと、今後の検討にもつなげていきたいと思っておりますのでお願いしたいと思います。

委員：それこそ、先日山吉田でもお話したのですが、当然ドアTOドアがいいに決まっていますが、それだとタクシー料金になってしまいます。しかもタクシーを1人で乗れば1人の料金だということじゃなく、なるべく新城の少ない台数の車もどうやって有効活用しようかといったら、同じ車両になる。たくさん同じ方向に行かれるようだったら、集まって乗っていただくし、端の方に行ったら皆バラバラに住んでいるので、それぞれ送っていくと、台数的に全

然足りないとかということになる。この西部線でしたら近いので、それぞれのとこで乗せてある程度集まったなとかって言って、いろんなどこに行きたいのだったらそっちに行くっていうのもあるかね、そういうふうに、なるべくまとめられるところをまとめるとか、そのために乗り換えしないといけないのだったら、乗り換えの時間は絶対に合わせてなるべく乗り換えが面倒くさくないようにするけれど、乗り換えてくださいね。運賃が高くなるわけじゃないですよ、ということに全員が納得できることが大事かと思います。

委員：手続き的な話をちょっとだけさせていただこうと思います。この表の中で、変更前は定時定路線、変更後は、一部定時定路運行ということで、区域運行だけでも定時定路でも走りたいという意図があるのかなど、理解しているところです。その際に、バス停の問題がちょっと手続き的にありまして、バス停は、定時定路バス運行系統に定められたバスが停まる、周囲の交通安全も含めて、そこはバス停ですよと、バスが運行するので停まらないでくださいとなっているエリアになります。この区域運行が、定時定路線のバス停を、今までと同じように利用できるかということですが、関係者、運輸局も含めて、警察とか関係者の方々が、これは関係者の皆さんと話し合いをもとに合意が取れていますということでバス停を利用してもいいですよっていうことを、こちらの方で認定していくっていう手続きがありますので、今後協議会の中で話し合いをして、まとめていただければと思います。お願いします。

事務局：区域運行と定時定路線ということで、別になってしまうのでということで、まちなかの部分のところは区域運行でありながら定時定路の運行をしたいということを考えておるので、警察の方にもご説明をしていきたいと思います。今後ですね、警察の方へ行って、そういったところを調整できればいいかなというふうに思っておりますのでよろしくお願いします。

委員：例えばバローって考えた時に、今のダイヤだとバローが西部線真ん中辺りにある、地域によって行きの手でバローに行って、帰りの手でバローに行くことになる。結構ありがちなのは、なるべく、そういう地域の中心のところに行くのだったら、行きと帰りとは逆にならないように、主要施設を最後通ってから中心部に行く方にした方が混乱しないと思いますが、ここはあまりそういうふうに考えないで、例えばバローだったら真ん中にあるので、それはそれでよく行きも帰りは別にどっちからでもいけると。

事務局：この案ですと、川田の方から来る時に、病院を寄りながら、それから片山とか、今まで行っていないところの住民の区域をすべて回った状態で、まちなかに入るという形をとっています。で、まちなかを抜けたら、今度は直接できるだけ、すぐにバローに行くようにという形です。イメージですと、例えば千郷地区のどの区域の人でも、バローで降りて利用して乗るまでに1時間は取れるようになっています。それからピアゴは、千郷地区のどの地区の人でも2時間でとっているようなダイヤを組んでおります。あと、病院の方については、昼間休憩でやっていないので、できるだけ、午前中にしかり回れるよう、行って帰れるよう組んでいます。また、今後変わってくるのかもしれないですけども、もう1度精査をしつつ検討していきます。

委員：途中にあるとどうしてもそういうことで、そのあたりのバランスを考慮する必要がある。

5 その他

・愛知県 交通対策課 江崎委員からの配付資料について説明

- ・ 次回の会議におけるタクシーの区域外運行について
- ・ つくでのデマンドバスの今後の運行について
- ・ ジェイアールバス関東新城支店より1周年イベント実施の結果について

<終了>